

東京湾再生のための行動計画(第二期)プロジェクトの令和2年度フォローアップ

【資料1-1 モニタリング分科会】

担当分科会	No	プロジェクト名	プロジェクトの概要	プロジェクトの実施状況							プロジェクトの目標	担当部署		
				第1期期末評価時点 (集計年度)	① 令和元年度の実施状況			② 令和2年度の実施状況 (令和2年4月～令和3年1月末時点)					③ 令和3年度の実施予定	
					場所	実施状況	備考	場所	実施状況	備考				
モニタリング	1	東京湾環境一斉調査 (東京湾における流域および海域の環境一斉調査)	多様な主体による水質等の調査の実施	平成20年から毎年実施している。	東京湾及び東京湾周辺河川の流域	8/7(水)に一斉調査を実施 ・水質調査の参加機関数:172 ・調査地点数:海域670、陸域421 合計1091	—	東京湾及び東京湾周辺河川の流域	8/5(水)に一斉調査を実施 ・水質調査の参加機関数:162 ・調査地点数:海域559、陸域430、合計989	—	令和3年度は1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、実施日について検討中。	調査の継続 参加機関数の拡大	共通	
モニタリング	2	水質等の観測 (東京湾の水質の常時監視)	水質汚濁防止法第16条に基づく常時監視により、東京湾の水質を把握する。	定期的を実施している。	東京湾流入河川	水質汚濁防止法による公共用水域の水質調査として実施	—	東京湾流入河川	水質汚濁防止法による公共用水域の水質調査として実施	—	令和3年度水質測定計画に基づき常時監視を実施予定	—	都県・水濁法政令市 (関東地方整備局企画部)	
モニタリング					東京湾内 (東京湾内湾19地点・東京湾内房9地点)	令和元年度測定計画に基づき常時監視、底質調査等を実施 (水質調査を年6・12回、底質調査を年1回実施。)	—	東京湾内 (東京湾内湾19地点・東京湾内房9地点)	令和2年度測定計画に基づき常時監視、底質調査等を実施 (水質調査を年6・12回、底質調査を年1回実施予定で計画どおり進行している。)	—	令和3年度測定計画に基づき常時監視、底質調査等を実施予定	—	都県・水濁法政令市 (千葉県)	
モニタリング					東京都内湾	環境基準点・補助点及び運河部において水質・底質の測定を年2～12回実施	—	東京都内湾	令和2年度水質測定計画に基づき環境基準点・補助点及び運河部において水質・底質の測定を年2～12回実施	—	令和3年度水質測定計画に基づき常時監視を実施予定	—	都県・水濁法政令市 (東京都)	
モニタリング					東京湾	令和元年度測定計画に基づき常時監視を実施	—	東京湾	令和2年度測定計画に基づき常時監視を実施	—	令和3年度測定計画に基づき常時監視を実施予定	—	都県・水濁法政令市 (神奈川県)	
モニタリング					東京湾内 (鶴見川河口先、横浜港内、磯子沖、平潟湾内、本牧沖、富岡沖、平潟湾沖)	令和元年度測定計画に基づき水質測定を実施した(12回/年)。また、鶴見川河口先、平潟湾内、本牧沖、富岡沖の4地点については、夏季及び冬季に底質調査を併せて実施した。	—	東京湾内 (鶴見川河口先、横浜港内、磯子沖、平潟湾内、本牧沖、富岡沖、平潟湾沖)	令和2年度測定計画に基づき水質測定を実施予定(12回/年)。また、本牧沖、横浜港内、磯子沖、平潟湾沖の4地点については、夏季に底質調査を併せて実施した。	—	令和3年度測定計画に基づき常時監視、底質調査等を実施	—	都県・水濁法政令市 (横浜市)	
モニタリング					東京湾	令和元年度測定計画に基づき常時監視を実施	—	東京湾	令和2年度測定計画に基づき常時監視を実施	—	令和3年度測定計画に基づき常時監視を実施予定	—	都県・水濁法政令市 (川崎市)	
モニタリング					東京湾内4地点	令和元年度測定計画に基づき常時監視を実施	—	東京湾内4地点	令和2年度測定計画に基づき常時監視を実施	—	令和3年度測定計画に基づき常時監視を実施予定	—	都県・水濁法政令市 (千葉市)	
モニタリング	3	水質等の観測 (広域総合水質調査)	東京湾の水質、底質、プランクトン及び底生生物調査を実施する。	定期的を実施している。	【水質】 28地点 【植物プランクトン】 10地点 【底質、底生生物】 9地点	東京湾の水質、プランクトン調査を年4回、底質及び底生生物調査を年2回実施	—	【水質】 28地点 【植物プランクトン】 10地点 【底質、底生生物】 9地点	東京湾の水質、プランクトン調査を年4回、底質及び底生生物調査を年2回実施	—	引き続き実施する。	水環境の経年的変化の把握	環境省水・大気環境局	
モニタリング					東京湾内21地点	実績なし	—	東京湾内21地点	実績なし	—	—	関東地方整備局 港湾空港部		
モニタリング	4	水質等の観測 (測量船による透明度・水温・塩分・溶存酸素のモニタリング実施)	東京湾内の定点において測量船による定期的なモニタリングを行う。	毎月1回、実施している。	東京湾内28地点	計画どおり四半期に一回の観測を実施	—	東京湾内28地点	計画どおり四半期に一回の観測を実施	—	四半期に一回の観測を実施予定。	—	第三管区海上保安本部	
モニタリング	5	水質等の観測	定点による連続観測(モニタリングポスト)、清掃兼油回収船「べいくりん」による定期観測の実施	千葉灯標等、湾内5ヶ所で連続観測が実施され、Webサイトにて情報が公開されている。	千葉灯標	モニタリングポストによる水質等の24時間365日連続観測を実施していたが、台風15号の影響により9月以降観測が停止している	観測機器の故障により、欠測期間あり	千葉灯標	台風15号の影響により9月以降観測が停止していたモニタリングポストを復旧した。	観測機器の故障により、欠測期間あり	モニタリングポストによる水質等の24時間365日連続観測を実施する。	—	海上保安庁 海洋情報部	
モニタリング					【モニタリングポスト】 4地点	【モニタリングポスト】 東京湾内の4地点(千葉港波浪観測塔、千葉港口第一号灯標、川崎人工島、浦安沖)に水質、流況、気象を測定する観測機器を設置し、24時間365日連続観測を実施	—	【モニタリングポスト】 4地点	【モニタリングポスト】 東京湾内の4地点(千葉港波浪観測塔、千葉港口第一号灯標、川崎人工島、浦安沖)に水質、流況、気象を測定する観測機器を設置し、24時間365日連続観測を実施	—	令和2年度と同様に引き続き実施する。	—	観測の継続	関東地方整備局 港湾空港部
モニタリング					【定点水質観測】 6地点	【定点水質観測】 東京湾内の6地点(一般海域)において毎月1回、観測機器による測定、採水及び水質分析を実施	—	【定点水質観測】 6地点	【定点水質観測】 東京湾内の6地点(一般海域)において毎月1回、観測機器による測定、採水及び水質分析を実施	—	令和2年度と同様に引き続き実施する。	—	—	—

東京湾再生のための行動計画(第二期)プロジェクトの令和2年度フォローアップ

【資料1-1 モニタリング分科会】

担当分科会	No	プロジェクト名	プロジェクトの概要	プロジェクトの実施状況							プロジェクトの目標	担当部局	
				第1期期末評価時点 (集計年度)	① 令和元年度の実施状況			② 令和2年度の実施状況 (令和2年4月～令和3年1月末時点)					③ 令和3年度の実施予定
					場所	実施状況	備考	場所	実施状況	備考			
モニタリング	6	東京湾の赤潮発生状況の把握	調査船による定期的な監視及び漁業者等からの随時の情報収集により、東京湾の赤潮発生状況を監視する。	毎年、東京湾の赤潮発生状況を把握している。 ※神奈川県海面で発生した全赤潮を把握するものではない	東京湾	東京湾の赤潮発生状況を把握(令和元年度赤潮発生件数※7件) ※神奈川県地先で発生した全赤潮を把握したものではない	—	東京湾	東京湾の赤潮発生状況を把握(令和2年4月～令和2年12月末時点 赤潮発生件数※0件) ※神奈川県地先で発生した全赤潮を把握したものではない	—	赤潮発生状況の監視を継続して実施する。	—	神奈川県環境農政局
モニタリング			調査船による定期的な東京湾の赤潮発生状況の監視を実施する。	毎年、東京湾の赤潮発生状況を把握している。 ※千葉県海面で発生した全赤潮を把握するものではない	東京湾	東京湾の赤潮発生状況を把握(令和元年度47回出航し、赤潮確認13件) ※千葉県地先で発生した全赤潮を把握したものではない	—	東京湾	東京湾の赤潮発生状況を把握(令和2年度34回出航し、赤潮確認10件、令和2年12月末現在) ※千葉県地先で発生した全赤潮を把握したものではない	—	令和3年度も継続して東京湾の赤潮発生状況を調査予定	—	千葉県環境生活部
モニタリング			調査船による定期的な東京湾の赤潮発生状況の監視を実施する。	毎年、東京湾の赤潮発生状況を把握している。	東京都内湾	環境基準点7地点とお台場で、夏季を中心に実施	—	東京都内湾	環境基準点7地点とお台場で、夏季を中心に実施	—	引き続き実施する。	—	東京都環境局
モニタリング	7	三番瀬自然環境調査事業	生物とそれを取り巻く環境に関して、地形・環境条件・生物の中から、必要な調査を実施する。	—	三番瀬	鳥類個体数調査を24回(月2回)実施	—	三番瀬	鳥類個体数調査を6月～1月に16回(月2回)実施。2月、3月も引き続き実施予定(※4、5月の調査はコロナウイルス感染拡大に伴う、非常事態宣言の発令により中止)	—	鳥類個体数調査を24回(月2回)実施する	必要な調査の継続	千葉県環境生活部
モニタリング	8	観測・環境調査データ等の公開	観測データの公開、モニタリングポストで得られたデータのリアルタイム情報発信、その他観測・環境調査データの標準化によるデータベース化及び東京湾環境情報センターからのデータ公開	広域総合水質調査に関しては環境省が、環境基準点の調査結果については各自治体または東京湾岸自治体環境保全会議がそれぞれ報告書を作成している。	①モニタリングポスト(4地点) ②海洋短波レーダ(東京湾内湾) ③環境調査データのデータベース化(東京湾全域)	①モニタリングポストによる定点連続観測データ(気温、平均風速、水温、塩分、DO、クロロフィルa、濁度、流況)のリアルタイム情報発信、東京湾環境情報センターでの公開 ②海洋短波レーダで取得された表層流況の面的分布(ベクトル)、風向風速、推算潮位データのリアルタイム情報発信、東京湾環境情報センターでの公開 ③東京湾環境一斉調査等の環境調査データを標準化によるデータベース化、東京湾環境情報センターでの公開	担当部局: 関東地方整備局 港湾空港部	①モニタリングポスト(4地点) ②海洋短波レーダ(東京湾内湾) ③環境調査データのデータベース化(東京湾全域)	①モニタリングポストによる定点連続観測データ(気温、平均風速、水温、塩分、DO、クロロフィルa、濁度、流況)のリアルタイム情報発信、東京湾環境情報センターでの公開 ②海洋短波レーダで取得された表層流況の面的分布(ベクトル)、風向風速、推算潮位データのリアルタイム情報発信、東京湾環境情報センターでの公開 ③東京湾環境一斉調査等の環境調査データを標準化によるデータベース化、東京湾環境情報センターでの公開	①モニタリングポスト(4地点) ②海洋短波レーダ(東京湾内湾) ③環境調査データのデータベース化(東京湾全域)	令和2年度と同様に引き続き実施する。	データ公開の継続	共通(関東地方整備局)
モニタリング					(東京湾全域)	(常時監視) 各自治体が常時監視を行った「平成30年度の測定データ」について報告を受け、全国集計結果として取りまとめ、令和元年12月24日に概要、データ等をウェブページ上で公開	(東京湾全域)	(常時監視) 各自治体が常時監視を行った「令和元年度の測定データ」について報告を受け、全国集計結果として取りまとめ、令和2年12月25日に概要、データ等をウェブページ上で公開	—	調査データの公開	環境省水・大気環境局		
モニタリング					【水質】28地点 【植物プランクトン】10地点 【底質、底生生物】9地点	平成29年度の調査結果をとりまとめ、環境省ホームページ「水環境総合情報サイト」で公開	【水質】28地点 【植物プランクトン】10地点 【底質、底生生物】9地点	平成30年度の調査結果を取りまとめ、環境省ホームページ「水環境総合情報サイト」で公開	—	調査データの公開	環境省水・大気環境局		
モニタリング	9	東京湾の貧酸素水塊発生状況の発信	調査船が実施する水質調査により、ホームページ(東京湾の溶存酸素情報)において貧酸素水塊の発生状況を発信する。	毎年、東京湾の溶存酸素情報を発信している。	東京湾	東京湾の溶存酸素情報を発信(令和元年度実績:22回)	—	東京湾	東京湾の溶存酸素情報を発信(令和2年4月～令和2年12月末時点 実績:19回)	—	監視及び情報発信を継続する。	—	神奈川県環境農政局
モニタリング	10	モニタリング研究会	有識者によるモニタリング分科会への助言	平成20年度の「東京湾のモニタリングに関する政策助言」により、今後の施策の方針等が示された。	—	—	—	—	—	—	必要に応じて開催を検討する。	関係機関が連携・協働した効率的かつ効果的なモニタリング体制の構築	共通